



誇り高い沼津を創造する
たか
貴き志を持つ人づくり

沼津市教育大綱 (案)

Numazu City Educational Guidelines

ここには冒頭の文章が入ります。

令和8年 月

沼津市長 頼重 秀一



誇り高い沼津を創造する

た か

貴き志を持つ人づくり

「貴き志を持つ人」とは

- ・夢を実現するべく、変化する社会の中で意思を持って学び続ける人
- ・他者を尊重し、地域や社会に貢献する人
- ・シビックプライド[※]を持ち、主体的に社会の形成に参画する人

※市民・都市の誇り。それを基に都市の課題解決や活性化に取り組む行動の姿勢も含む。

趣 旨

これまで一人一人の夢の実現にとどまらず、あらゆる場所で挑戦し続け、「沼津を愛し、誇りを持ち、自分自身が関わって社会を変えていく」というシビックプライドを持った、「貴き志を持つ人」の育成を進めてきました。

これからも、「貴き志を持つ人」の育成を目的に、これまでの先人たちの功績への感謝を忘れず、本市の環境ポテンシャルを全面に活用し、次の100年を見据えた持続可能な本市の創り手の育成に努め、市民一人一人がそれぞれの幸せを実感し、沼津市全体が幸せや豊かさを感じられるまちづくりを目指します。

位置付け

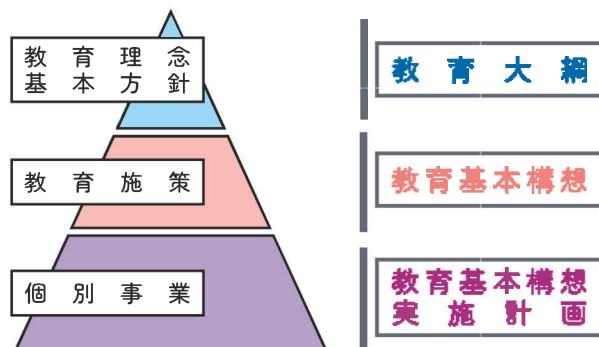
「沼津市教育大綱」は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3の規定に基づき、本市の教育が目指す基本的な方向や推進すべき施策を明らかにするものとして、本市の教育理念とその施策に関する基本的な方針を定めたものです。

本市における最上位計画である「沼津市総合計画」を踏まえるとともに、国の「第4期教育振興基本計画」を参酌して策定しました。

基本方針

- 1 人間力を磨く教育
- 2 地域総がかりで取り組む教育

体 系 図



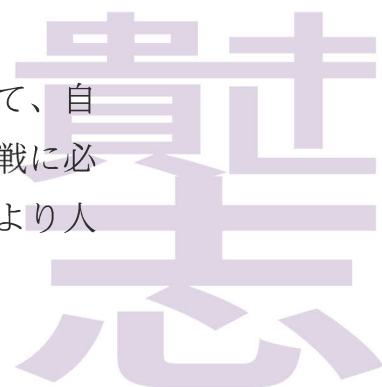
「沼津市教育大綱」を踏まえ、本市教育委員会では「沼津市教育基本構想」において教育振興に関する施策を、「沼津市教育基本構想実施計画」において個別事業を示し、各種取組を推進していきます。

期 間

令和8年度から令和12年度までの5年間

社会情勢がめまぐるしく変化し、予測が困難な時代を迎える中、自分らしく幸せに生きていくためには、「知」すなわち確かな知性、「徳」すなわち豊かな心、「体」すなわち健やかな体をバランスよく育て、個の資質を高めていくことが重要です。

一人一人が幸せや生きがいを感じるためには夢や志を持って、自身の可能性に挑戦する必要があります。この可能性への挑戦に必要な力を確実に育んでいくため、「知・徳・体」の育成により人間力を磨く教育を推進していきます。



(1) 確かな知性の育成

情報化や国際化、革新的な技術の発展など、変化が激しく多様な考え・情報があふれる社会に即し、主体的に生き抜くための確かな知性の育成が必要です。

知を高めるための学びの充実や、グローバルな視点を持つ人材育成、知を支えるための教育環境の充実、教育機会の拡充などの取組を通して、変化の激しい予測困難な時代を乗り越えるため、探究心を高め新たな価値を創造する確かな知性を育んでいきます。

(2) 豊かな心の育成

どのような時代にあっても、主体的に人間関係を形成し社会と関わり、感性豊かに生きていく力を備えることが必要です。

基本的な生活態度・生活習慣の確立に向けた取組や、様々なコミュニケーション機会の創出・提供、多様性を尊重し合う態度の育成などを通して、自立した人間として他者とともに社会に参画し、幸せを実感しながら生きていくために必要となる豊かな心を育んでいきます。

(3) 健やかな体の育成

人生 100 年時代を迎える中、生涯にわたって明るく元気に暮らすためには、心身共に健やかであることが必要です。体力は、人間の活動の源であり、身体面だけでなく、意欲や気力といった精神面での充実にも大きく関わります。

スポーツ活動の必要性についての啓発やライフステージに応じたスポーツ機会の提供、健康教育や食育の推進などを通して、生涯にわたって自分らしく幸せに生きるために必要となる健やかな体を育んでいきます。



02 地域総がかりで取り組む教育 Community-wide education

市民の価値観やライフスタイルが多様化する中、持続可能な社会を築いていくためには、地域における人と人との繋がりを深めるとともに、地域に貢献する人材を育て、豊かで活力ある地域社会を実現することが重要です。

地域の物的資源や人的資源を生かしながら生涯を通じた学びを促進し、この学びの中で地域における自己有用感を高め、地域内はもとより地域間の協調を密なものとし、市民が地域とともに幸福を実感できるような人づくりとまちづくりの連携を推進していきます。



(1)地域が学びを育て、学びが地域を育てるまちの推進

郷土への誇りと愛着、地域社会の一員としての自覚を促すためには、本市の豊かな自然や歴史・文化を、誇るべき宝として認識することが重要です。

地域に対する市民の理解を深め、郷土を愛する心を醸成するとともに、文化財などの地域資源の保存や継承、利活用を推進していきます。

また、学校と家庭や地域、関係機関等との連携を促進し、地域で活躍する様々な人材を活用するなど、地域ならではの創意工夫により、地域とともに特色ある学校づくりを進め、家庭や地域の教

育を充実させていきます。

(2)生涯を通じた学びの推進

豊かで活力ある地域社会を実現するためには、誰もが社会の担い手となって活躍するための学びを促進する必要があります。

誰もが生涯にわたって学び続けることができるよう、様々な学習機会の提供とともに、「スポーツのまち」として、生涯スポーツの充実に取り組んできました。これに加えて「文化芸術のまち」として、文化芸術活動の振興を図るための環境整備や機会の創造などに取り組み、様々な分野にお



いて主体的に地域社会を支え活躍できる市民の育成を推進していきます。

また、各教育機関の円滑な接続により、相互に連携しながら学びの連続性を確保し、切れ目ない支援や多様なニーズへの対応を充実させることや何度でも夢に向かって挑戦できる学びの環境の整備を図り、子供たちをはじめすべての人が輝くことができる環境を構築していきます。

(3)人づくりとまちづくりの一体的な推進

まちの主演である「人」を大切にし、市民の誰もが安心して明るくいきいきと暮らせるまちづく

りが必要です。

そのため、交通安全や防犯、防災、環境等に関する教育の充実を図り、市民一人一人の命を守り、より安全安心な未来を築いていく必要があります。

また、夢の実現や地域社会の活性化に向けて活動できる機会や場所を提供するとともに、スポーツの振興と観光施策との協働を図るなど、主体的に社会の創り手となる人づくりと、人中心で魅力あふれる持続可能なまちづくりを地域総がかりで一体的に推進していきます。

沼津市教育大綱

令和 8 年 月

